

# 令和6年度徳島県田園環境検討委員会

## I 日 時

令和7年3月12日（水）午後2時から午後3時15分

## II 場 所

徳島県庁11階 1103会議室

## III 出席者

【委員】井藤大樹、河口洋一、住友美佐子、板東達生、森紗綾香  
（アイウエオ順 敬称略 5名中5名出席）

【 県 】 農山漁村振興課長、生産基盤課長他

## IV 委員会次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

（1）農業農村整備事業の「環境との調和への配慮」について

（2）農業農村整備事業の環境配慮実績について

4 閉 会

## <配付資料>

- ・会議次第
- ・配席図
- ・徳島県田園環境検討委員会等設置要綱
- ・徳島県田園環境検討委員会委員名簿
- ・審議地区の環境との調和への配慮取組み
- ・環境配慮実績報告書

## V 会議録（要旨）

### 1 開 会

### 2 挨拶 農山漁村振興課長

### 3 議 事

#### (1) 農業農村整備事業の「環境との調和への配慮」について

##### ① 経営体育成基盤整備事業 江野島地区

###### 【委員】

魚介類の配慮計画として、2つの工法が示されているが、魚介類の専門家からの意見として、水路の部分拡幅や全面的な暗渠化を避ける、ため池の一部を残す等の意見をいただいているが、これらは配慮できないということで、この2つの工法が示されているのか。

###### 【県】

この2つの工法が主な配慮計画であり、地区の少し外れた箇所にてため池がある。このため池に地区内の水路がつながっているため、地区内の魚介類が非灌漑期でも、ため池に逃げ込めるように整備を進めていく。

###### 【委員】

2つの工法以外に配慮する計画があるのであれば、配慮計画に盛り込んでいただきたい。そうすれば、我々としても何を配慮して、何が配慮できないかが一目でわかる。

計画段階のため、どこでこの配慮対策を実施するのかを示すことは難しいかもしれないが、ある程度考えられる範囲で示していただくと、委員として意見が出しやすい。

###### 【委員】

示された2つの工法は、他の工法と比較検討した上で決定しているのか。いくつかの工法案があったが、今回はこのような理由で2つの工法を採用したのかを示していただけると、より建設的な意見や議論ができると思う。

###### 【県】

現時点での工法案である。事業採択後に発注する詳細設計において、現地の状況にあわせた具体的な環境配慮計画を検討していく。

###### 【委員】

詳細設計時に、専門家など、知見をお持ちの方に、水路の接合点やスペースがとれそうな場所がどういうところか等の情報を整理した上で再度ヒアリングしていただき、詳細設計に反映できるといいと思う。

###### 【委員】

他県で定めている農村環境の生態系保全に配慮した整備指針も参考にしながら進めていくと、生物多様性に配慮した持続可能な農業ができるのではないかと思います。

###### 【委員】

本地区は海に近く、水田の畑地化は難しいと思うが、畑地化の基本的な考え方について教えてほしい。

###### 【県】

地区の中で比較的土地が高い地域を中心に畑地化を進めていく。

**【委員】**

植物について、外来種が確認された場所は面的に繁茂していたりするのか。

**【県】**

一部地域において群生しているが、面的に群生している状況ではない。

**【委員】**

外来種は広がってしまうと駆除が大変なので、外来種についても地域の方への周知をお願いする。

**【委員】**

工事施工時の重機搬入の際に、重機に付着して、外来種も含めてこの地域にいない種が入ってくることが想定されるので、施工業者には、重機搬入前や搬出時にできるだけ土を落としてから来て下さいと周知いただければと思う。

**【委員】**

植物の配慮計画として、土壌の再利用を計画しているが、もし希少種と外来種が混在している場合、どちらを優先するかなどの判断基準をお持ちなのか教えていただきたい。

**【県】**

特に判断基準は定めていないが、その場合は専門家と相談しながら、対応していきたい。

**【委員】**

本地区内に自然のため池があるとのことだが、希少魚介類が1年越せるような場所は少ないのか。

**【県】**

本地区内には、「たぶのせ」という湿地帯があり、年中通して水がある。低平地であるため、他の地域でも冬に水が残っている箇所が多い。これらを生かして、水路の接続等を検討していきたい。

**(2) 農業農村整備事業の環境配慮実績について**

**【委員】**

保護育成の状況報告があり、今後、現地に播種する予定とのことだが、播種するだけでいいのか、それともこちらで発芽させ、ある程度まで苗を育てて植え戻したほうがいいのかを教えていただきたい。

**【県】**

データが蓄積され、実績が積み上がってきた種については、どのような配慮を行えば成功するかが分かってきている。実績が少ない種については、もし失敗した場合、他の方法を試行錯誤しながら配慮を進めてまいりたい。

**【委員】**

徳島では実績が少ない種でも、全国に広げるとどこかで事例があるかもしれないので、そういうのも活かせていただければと思う。

**【委員】**

学会誌等に記載されている植物の移植等の事例は少ないので、何らかの形で情報を出していただければ、他地域にも情報が広がっていくので、是非検討のほどお願いする。

**【委員】**

事業完了後もしばらくはモニタリングをするのか。

**【県】**

予算の都合がどうしてもあるので、事業が終わるタイミングまでに定着を目指している。

4 閉 会